

社会福祉法人 あひるの会 設立30周年記念式典

11月25日（金）、ホテルスプリングス幕張にて、法人設立30周年の記念式典、及び祝賀会が開催されました。前日は観測史上初めて都心で積雪があり、習志野エリアも曇天。当日の天候が心配されましたが、幸い翌朝には雪はほぼ解け、気持ちの良い秋晴れに。来賓、利用者、ふれあい会、保護者会、就労者親の会、職員、総勢308名が大宴会場エメラルドに集まりました。

式典では、理事長の挨拶に始まり、来賓挨拶、感謝状の贈呈等が行なわれました。あひるの会の歴史を振り返る映像も上映され、懐かしい写真に各テーブル思い出話に花が咲きました。



【来賓挨拶】

右：習志野市長 宮本泰介様



左：社会福祉法人 佑啓会 理事長 里見吉英様



【常務理事、施設長挨拶】



【理事長より、感謝状贈呈】

あひるの会友の会代表 国松実枝子様

あかね園前施設長 柴田麻子

第二部の祝賀会では、ピアノとサックスの生演奏を聴きながら、美味しい料理を堪能しました。また、会の終盤にはあかね園に30年通い、働き続けている利用者5名、そしてパラリンピック水泳日本代表の田中康大さんをご紹介させていただきました。

以下に、参加者の声を幾つか掲載します。
（準備委員会：中）



【準備委員会のメンバー】

1年半前の発足からこの日を迎える

この度、法人設立30周年という節目の時に居合わせられたことは感慨深く、あかね園との出会いの幸運を改めて思いました。子どもの長い人生の中での良き理解者として、あかね園には常に元気で在り続けてほしいと願うことが、私たち親の共通の思いです。そのための地盤作りの要となり、土台で法人あひるの会を支えることが友の会の役割だと思います。そのことが同時に、あかね園を応援することとなり、その責任の大きさを改めて感じたところです。来年は友の会の30周年となりますが、変わらぬ皆様のご理解とご協力が欠かせないと思います。私たち一緒にこれからも、これからこそ私たちのあかね園を応援していきましょう。そんなことを思いながらの記念式典でした。

（友の会：中内 ※前列右から3人目）



【乾杯】

九州厚生局

吉野隆之様



・ピアノ 鳥居明美氏

・サックス 山田真也氏



【あかね園永年勤続者の紹介】



【30年を振り返る映像】

あかねの集い

第30回 節目のバザーを終えて

10月2日、前日・翌日を雨に挟まれた快晴の日曜日、第30回という記念のあかね園バザーが開催されました。前日に予定されていた近隣の小中学校の運動会が荒天のため翌日に順延となり、来場者数は昨年より若干減りましたが、それでも約1,200人のお客様が足を運んでくださいました。



【昭和63年のバザー】

時を遡ること30年、昭和61年11月、赤坂プリンスホテル別館で第1回あかね祭（バザーとコンサート）が開催されました。今年、法人は設立30年を迎え、同時にバザーも同じ回数を重ねました。初めてのバザーの収益は60万円、年々規模が拡大し、今年は320万円を超える成果を上げることができました。

冒頭から売上の話をしてしまいましたが、この右肩上がりの数字は来場者数と比例しており、それはつまり、あかね園が年々地域にその根を広げていることを意味しています。もともと、法人設立の出発点となった保護者による、法人を支える親の活動に端を発するバザーですが、商品の質と量の担保は年を重ねる毎に困難を増し、“新品を・沢山・安く”売り続ける、そのためにそれだけの商品を集め続けることは、地域住民や近隣企業の協力なくしては成り立ちません。千人を超えるお客様を毎年お迎えできることは、近隣地域にあかね園が周知され、その理念が浸透しているということも示しているのです。

親たちは、バザー開催の何カ月も前から走り出します。各ご家庭への提供品のお願いに始まり、企業への協賛依頼、開催のお知らせと、あかね園の理念は親たちの足と手によって地域に広げられて行きます。その結果、人が人を呼び、“豊富な商品と大勢のお客様”が集まります。職員にとってのバザーは、毎年親の凄みを痛いほど感じる機会であり、同時に感謝と、親の姿勢に学ぶことの多い勉強の場でもあります。バザーを通して成長させてもらっている職員は数多くいます。規模が大きくなればなる程、トラブル対応や防犯対策が求められます。職員は準備段階では会場設営等の実務を担い、当日は



【会場に集う多くのお客様】



利用者と共に売り場に入ります。お客様からは様々な注文や時には苦言をいただくこともあります。あかね園の人を介してご来場くださった方の言葉だからこそ、真摯に受け止め、次年度はもっと良くしようという意識に繋がります。

次の30年を想像すると、バザーを運営する側の顔ぶれが変わり、社会情勢が変わり、おそらく今まで以上に商品集めや売上向上が厳しくなると思います。3～5年という短いスパンで考えても、小さくない変化は生じるでしょう。今後は、規模や売上だけを追うのではなく、あかね園が地域に開かれた施設であり続けるために、あかね園を知る機会としてバザーを位置付けていくことが大切だと思います。従来の“売る・買う”に留まらず、地域の人に“使ってもらう”場としても開催方法を検討し、皆さんがバザーに末永く期待を持っていただけるよう、理念は変えず、内容は柔軟に、ニーズに応えられる開催を続けていきたいと思っています。

（バザー担当：中）



【集まった商品へ値付けをする親】

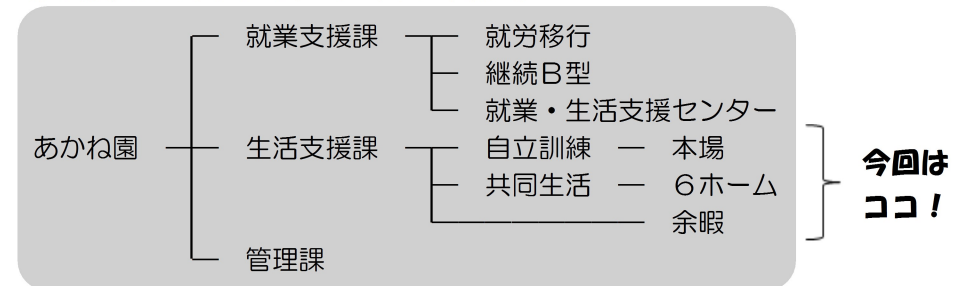
あかね園の生活支援 ～自立訓練事業、共同生活援助事業、余暇支援のご紹介～



今年度からあかね園の支援課は、就業支援課と生活支援課の2課体制となりました。（※就業支援課については「あかねの集い第162号」を参照ください。）各課内における事業及び業務間の連携をより密にすることで、各課の特色とメリハリのある支援の成果が出せるのではないかと考えています。

生活支援課は、自立訓練（生活訓練）事業、共同生活援助事業（グループホーム）、余暇支援の3つに分かれたサービスを提供しています。これは法人理念の「障害があっても地域で“働く”“暮らす”」に“楽しむ”を加えた、将来を見据えた上での生活の質を高める取り組みです。今号では、あまり知られていない、この生活支援課の細やかな生活支援の一部をご紹介します。

【社会福祉法人あひるの会 あかね園 組織図】



働く

《自立訓練事業》

自立訓練事業の取り組みはまさに「あかね園の歴史」です。

「働く上で必要なのは“良い生活習慣を身につけること”」をモットーに、若い年代を中心に職員との距離を密にし、生活スキル向上のための経験・体験に挑戦しています。（担当：青木）



作業を通しての生活スキルの確認



身だしなみの確認



掃除のスキル



対人マナー



汗処理の仕方について



企業で働くための健康・体力



公共のルール・マナー



外出時の約束

楽しむ

《余暇支援》

あかね園の余暇支援は「働く上では休日の充実も大切」との考えからスタートしました。

余暇支援の狙いは、休日の日中活動の場の提供だけでなく、「一人でも」「家の中でも」「高齢になっても」と将来を見据えて自身で楽しめることを身に付けてほしいとの思いも込めて、企画や情報発信に取り組んでいます。

毎月2回、土曜日に和太鼓、刺し子、絵画、フラワーアレンジメント、サッカーの活動を行なっています。希望するプログラムに参加することができ、リラックスした雰囲気の中で平日とはまた違った皆さんの姿が見られます。（担当：横山）



サッカー



絵画



フラワーアレンジメント



刺し子



太鼓

暮らす

《共同生活援助事業》

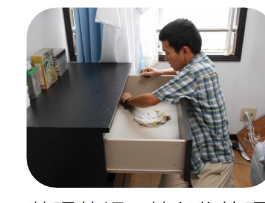
現在、あかねホームはサテライトを含め6カ所となりました。各ホームが「できるだけ自分のことは自分で」が基本の“訓練型”、将来の一人暮らし等を目指す“通過型”等のコンセプトを有しながら、様々な生活実習の機会を設け、それぞれのスキルアップを目指した取り組みを行っています。これからも自分ができることを最大限に引出し、可能性を広げる訓練の場としてのグループホームを目指していきます。（担当：渡辺）



公共の場の清掃



衣替え・洗濯



整理整頓・持ち物管理



調理



調理実習を通し、自炊の練習



定期的な目標の確認

保健

保健担当では、年間を通して健康診断や内科検診の準備を整え、また季節に応じてインフルエンザや感染性胃腸炎等の予防の呼び掛けを、保健担当が中心となって行なっています。

今号では、先日行なわれた千葉県歯科保健巡回診療指導（ビーバー号）についてご報告します。

【実施日】12月6日（火）、7日（水）

【内 容】AM 口腔検診（歯科医師3名）、ブラッシング指導（歯科衛生士10名）、フッ素塗布
PM 「歯の健康が及ぼす全身疾患について」の講話

2日間で利用者80名が受診し、内47名に虫歯や歯茎の病気などの所見がありました。該当する方は、早めに歯科診療所を受診し、受診報告書の提出をお願いします。歯の疾患をそのままにしておくと、肺炎や心疾患などの全身疾患へと繋がる恐れがあります。そして、歯がなくなり噛み合わせが悪くなると、歩く際に踏ん張りが効かずに転倒するリスクも高くなります。美味しく食事を摂るためにも、歯の健康はとても大切です。お口の健康が全身の健康へと繋がっていきますので、早めの受診、1年に1回の定期的な健診で、歯の健康を維持していきましょう。

また、風邪やノロウイルス、インフルエンザなど感染症が流行する時期となりました。手洗い・うがい・咳エチケットに気をつけ、予防を心掛けましょう。発熱や腹痛、咳などの気になる症状がありましたら、早めの受診をお願いします。

（担当：長田）

